

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2022年度	開講キャンパス		都城キャンパス	開設学科		子ども教育学科		
科目名称	教育実習 I 事前事後指導						授業形態	演習	
科目コード	750109	単位数	1単位	配当学年	3年	実務経験教員		アクティブ ラーニング	○
担当教員名	藤本 朋美								
授業概要	<p>この授業は、教育実習の事前と事後に行う教育実習に関する指導を通して、教育実習の目的の達成をより確かなものにするを目的としています。</p> <p>事前指導では、幼稚園における教育実習の意義と目的、実習の内容と方法、実習日誌の書き方、記録の取り方、実習課題、指導案の作成の方法等について学びます。指導案の作成と併せて模擬保育を実施することで、子ども達の発達に応じた遊びやかかわり方を検討します。加えて、必要な準備物、主体的参加心得、身だしなみ（髪型・服装・言葉遣い等）、園長や指導教員等の教職員、幼児や保護者等への接し方について具体的に指導します。</p> <p>【知識・技能の育成】 【態度・志向性の育成】</p> <p>事後指導では、教育実習で得た知見をもとに、保育・幼児教育の基礎的・基本的事項の重要性や保育者に求められる資質・能力について考え、保育者としての自己の課題を把握します。</p> <p>【汎用性能力の育成】 【態度・志向性の育成】</p>								
関連する科目	<p>事前に「保育者論」「観察実習（事前事後指導含む）幼」を受講しておくこと。</p> <p>履修後に「教職実践演習（幼）」を受講すること。</p>								
授業の進め方と方法	<p>事前指導は、講義または演習形式の授業（模擬保育を含む）を行います。グループディスカッション等にて学びを深め、必要に応じて、レポートやプレゼンテーションにより自らの考えを表現します。</p> <p>事後指導は、グループディスカッション等にて実習の学びを深めるとともに、自らの学びや考えをレポートにて表現します。また、下級生や実習園指導教諭に向けた報告会を行います。報告会はポスターセッション形式で行います。</p> <p>【知識・理解の獲得】 【汎用的技能の育成】</p>								
授業計画【第1回】	<p>実習の意義・心構え・資格確認</p> <p>これまでの学びを振り返り、実習の意義や目的を確認します。同時に実習に対する不安を言語化し共有します。</p>								
授業計画【第2回】	<p>幼稚園と保育園、幼稚園の一日の流れ</p> <p>幼稚園における保育・幼児教育について「幼稚園教育要領」から整理します。</p>								
授業計画【第3回】	<p>年齢別に見る子どもたちの姿</p> <p>子どもたちの各年齢における特徴を学び、かかわる際の留意点について検討します。</p>								
授業計画【第4回】	<p>実習日誌 ①意義</p> <p>なぜ実習日誌を書くのか（意義）、何を書くのか（項目）、どのように書くのか（視点と記録方法）、どう生かすのか（指導案との関係）について学びます。</p>								
授業計画【第5回】	<p>実習日誌 ②書き方</p> <p>なぜ実習日誌を書くのか（意義）、何を書くのか（項目）、どのように書くのか（視点と記録方法）、どう生かすのか（指導案との関係）について学びます。</p>								
授業計画【第6回】	<p>実習指導案とは</p> <p>なぜ指導案を書くのか（意義）、作成のポイント等について確認し、実際に指導案を作成することで書き方等を検討します。</p>								
授業計画【第7回】	<p>模擬保育案の作成と実施 ①グループでの作成</p> <p>作成した指導案にそって模擬保育を行い、活動に必要な準備や教材研究、子ども達の姿の予想、関わる上での留意点などについて学びます。</p>								
授業計画【第8回】	<p>模擬保育案の作成と実施 ②-1 個人作成（代表者による模擬保育とグループディスカッション）</p> <p>作成した指導案にそって模擬保育を行い、活動に必要な準備や教材研究、子ども達の姿の予想、関わる上での留意点などについて学びます。</p>								
授業計画【第9回】	<p>模擬保育案の作成と実施 ②-2 個人作成（代表者による模擬保育とグループディスカッション）</p> <p>作成した指導案にそって模擬保育を行い、活動に必要な準備や教材研究、子ども達の姿の予想、関わる上での留意点などについて学びます。</p>								
授業計画【第10回】	<p>模擬保育からの学び</p> <p>作成した指導案にそって模擬保育を行い、活動に必要な準備や教材研究、子ども達の姿の予想、関わる上での留意点などについて学びます。</p>								
授業計画【第11回】	<p>実習前最終確認（実習課題と実習の心構え）</p> <p>実習日誌事前記入事項や、身だしなみ、準備物について最終確認を行います。</p>								

授業計画 【第12回】	実習を終えて（お礼状の作成と課題の把握） 実習を振り返り、自身の学びを確認します。それぞれの学びを共有することで、自身の課題について考えます。
授業計画 【第13回】	実習の成果について 実習を振り返り、自身の学びを確認します。それぞれの学びを共有することで、自身の課題について考えます。
授業計画 【第14回】	実習報告作成 実習における学びを整理し、報告会を行います。報告会はポスターセッションで行います。
授業計画 【第15回】	実習報告会 実習における学びを整理し、報告会を行います。報告会はポスターセッションで行います。
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教育実習に参加する際の心構えほか、実習日誌・実習指導案の作成方法を理解することができる。 【知識・技能の育成】 【態度・志向性の育成】</li> <li>2. 教育実習で学んだことを集約し、保育者としての資質を高めるべく今後の学習の方向性を定めることができる。 【汎用的技能の育成】</li> <li>3. 幼稚園教育への意欲と関心を高め、教師としての意志と適性を確認することができる。 【態度・志向性の育成】</li> </ol>
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1) / 1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2) / 2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1) / 3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1)
授業時間外の学修 【予習】	教育実習に向けて、実習園への見学や自主実習等を行い、情報収集を行うこと。また、自身の保育技術向上のため、課外授業や自主学習に積極的に取り組んでください。
授業時間外の学修 【復習】	実習後には、教育実習および事後指導での学びを振り返り、自身の課題を明確にします。自身の課題の克服のためにどのような取り組みが必要か考え、実行してください。
課題に対する フィードバック	実習日誌、レポートは評価後、返却し解説をします。
評価方法・基準	学習への意欲的な取り組み 50点 ※原則として授業への遅刻・欠席、提出物の未提出（期限厳守）は認めません。 レポート 50点
テキスト	『幼稚園教育要領解説』文部科学省（2017）フレーベル館、（240円＋税） 「実習の手引き」南九州大学
参考書	必要に応じて図書、資料を紹介します。
備考	